

月	年間指導計画（学習内容）単元名 単元の目標	評価の観点	具体的な評価規準	評価方法
4 5 6	欧米諸国における「近代化」 ・「近代化」の進展で、欧米諸国の政治や社会はどのように変化したのか考える。 - 開国と幕府の終わり ・欧米諸国が来航するなかで、人々はどのような対応をしていたのか考える。 - 明治政府による「近代化」の始まり ・明治政府までのような国づくりを行ったのか考える。 - 近代国家への歩み ・日本の「近代国家」の建設は、どのようになされたのか考える。 - 帝国主義と日本 ・「近代国家」日本は、世界でどのような動きをしていたのか考える。 - アジアの強国の光と影 ・「近代化」によって、日本の産業や社会はどのように変化したのか考える。 - 大正デモクラシー～第二次世界大戦と日本 ・近代までの日本の流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴を理解するとともに、資料から歴史に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 ・近代（後半）での日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・近代（後半）の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	知識・技能	○市民革命と産業革命を経た欧米諸国の世界進出、社会主義の登場の背景や植民地への影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○欧米諸国のアジア進出に対する清の動きと、日本の開国と貿易の拡大による政治的・経済的・社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○富国強兵や殖産興業の政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○新政府が岩倉使節団の派遣や国境の画定などの新たな外交を進め、やがて自由民権運動の広がりを背景に憲法が制定されたことへの理解とともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○日清・日露戦争での勝利や不平等条約の改正などを基に、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○日本の産業革命と国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ○近代までの日本の流れを世界の歴史を背景に特色をふまえて理解し、資料から歴史に関する情報をまとめる技能を身につけている。	定期考査
		思考・判断・表現	○工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、近代化により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の東アジアへの進出が日本の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が社会や人々の生活に与えた影響について、また近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子について考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○大日本帝国憲法と帝国議会の成立過程に着目して、外国との関係や現代の政治とのつながりを考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○日清・日露戦争が起こった理由を、世界の帝国主義の動きや日本の近代化との関わりから考察し、事象を関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○工業化の進展が国民生活や文化に与えた影響について、その光と影の二面性を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関係に着目して、事象を相互に関連づけ、近代の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代の日本を大観して、多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 レポート
		主体的に学習に取り組む態度	○欧米諸国における近代化と市民社会の成立について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○欧米諸国における「近代化」の進展と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○国際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近代の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○近代の日本の学習をふり返り学びを確認、調整しようとするとともに、近代の時代の特徴は何かを主体的に追究しようとしている。	レポート 授業観察

7	平和と民主化への動き～現代社会の見方や考え方 ・現代の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、資料から歴史に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 ・現代の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、説明したり、議論したりする力を養う。	知識・技能	○現代の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 ○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響を理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ○人間は社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性などの意義及び個人の責任を理解している。	定期考査
	現代社会の特色と私たち～現代社会の見方や考え方 ・現代日本の特色である少子高齢化、情報化、グローバル化などについて理解させる。 ・現代社会における文化の意義や影響を理解させる。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・位置や推移、変化などに着目し、文化の継承、創造の意義を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・私たちが生きる現代社会と文化の特色を課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 ・人間は本来社会的存在であることを基に個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目し、社会生活の物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	思考・判断・表現	○敗戦前後の社会の変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ○現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察・表現している。 ○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 レポート
	9	主体的に学習に取り組む態度	○私たちが生きる現代社会と文化の特色を、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○現代社会を捉える枠組みについて、課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○資料から戦争中や敗戦直後、現在のようすを比較することを通して、現代の日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○現代の日本の学習をふり振り返りながら自身の学びを確認するとともに、現代の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。	レポート 授業観察
10	人権と日本国憲法～地方自治と私たち ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることを理解させる。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われることの意義を多面的・多角的に考察、表現させる。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	知識・技能	○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ○国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	定期考査
	11	思考・判断・表現	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	定期考査 レポート
		主体的に学習に取り組む態度	○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	レポート 授業観察
12	消費生活と経済～財政と国民の福祉 ・身近な生活を中心に経済活動の意義を理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させ、その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、職業の意義と役割及び雇	知識・技能	○身近な消費生活など、経済活動の意義を理解している。 ○市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方や資源の配分を理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について理解している。 ○財政、租税の意義、国民の納税の義務を理解している。	定期考査

	用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義、納税の義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割を多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して個人や企業の経済活動における役割と責任や、職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、議論したりしている。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、議論したりしている。 ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 レポート レポート 授業観察
1	これからの経済と社会～これからの地球社会と日本 ・世界平和の実現と福祉の増大のため、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際機構などの役割を理解させ、領土、国家主権、国際連合の働きなどについて理解させる。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決に経済的、技術的な協力が大切なことを理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し表現させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解し、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 ○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目し、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 定期考査 レポート レポート 授業観察
2 3	より良い社会を目指して ・社会的な見方・考え方を働かせ私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述させる。 ・私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○持続可能な社会の考えについて、これまでの公民的分野での学習を踏まえて理解を深めている。 ○環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などに関わる課題を解決することが、持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。 ○社会的な見方・考え方を働かせ、社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、説明、論述している。 ○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会の課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 定期考査 レポート レポート 授業観察